

# 塀もまちの景観の一部

## 1. 学習のねらい

- まちを構成する要素のひとつである塀は、その種類や色により人に与える印象が変わることに気づく。
- まち全体ではなく、塀一つが変わるだけでも、まちの景観が変化することに気づき、まちの景観が良くなるにはどうすればいいのかについて考え、発表できる。

## 2. 学習活動

- 本題材は、まちの景観の良さを「統一感」や「調和」という観点から考えていくものである。
- 小学生の低い目線でまちを見ると、子どもたちがなにげなく目にしているまちには、塀がたくさんあることに気づく。塀は、色や素材、大きさの違いによって、人に与える印象が変わる。またその連なりかたによって、まちに「統一感」や「バラバラ感」を与える。つまり塀の連なりかたによって、まちの景観が「良くなる」ことも「悪くなる」こともある。
- 授業は、まちには塀がたくさんあることに気づくことから始まる。塀に注目をしてまち探検をし、塀には様々なものがあることを発見していく。
- 学校に戻り、それぞれの塀が与える印象について考える。同時に、その塀の印象がまちの印象にも影響していることに気づかせたい。どのような塀が連なることで、まちの印象、つまりまちの景観が良いものになるのかを塀の写真を使った実験的な作業を行いながら考えていく。

## 3. 準備するもの

### 【用具】

- 子どもの目線でまちを撮影したビデオ(3～5分程度)
- デジタルカメラまたはレンズ付きフィルム(各グループに1台)
- デジタルカメラを使用した場合はプリンタ
- A3サイズに拡大した塀の写真(児童が撮った写真から種類の違うもの数点)
- まち探検の地図

### 【場所】

- 教室、学校周辺など

## 4. 学習の流れ(授業展開のイメージ)

	学習のねらい	学習活動	教師の指導	評価
STEP 1 【1時間】	まちの中に塀がたくさんあることに気づく	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちを、子どもの目線で撮ったビデオ映像をみる。</li> <li>●そこに映っていたものを挙げる。例) 道路、電柱、公園の入り口、塀</li> <li>●まちの中には、塀がたくさんあることに気づく。</li> <li>●次時のまち探検の説明を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事前にビデオを撮って準備しておく。</li> <li>●ビデオに映っていたものが、まちを構成する要素の一部であることに気づかせる。</li> </ul>	関心・意欲・興味(観察)
STEP 2 【2時間】	学校周辺を探索し、写真を撮る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6人ぐらいのグループを作り、グループごとにまち探索する場所を決める。</li> <li>●実際に学校の周り(学区)を歩き、目に映る塀をデジタルカメラを使用し、写真に撮る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの安全に十分注意する。</li> <li>●各グループに大人が1人入れるように、保護者等に協力してもらう。</li> <li>●撮影した写真の場所を地図に記させておくことよい。</li> <li>●1つの塀に対し、①画面いっぱいに塀を撮ったもの、②その塀が入っているまちの風景を撮ったものの2パターンの写真を撮らせる。</li> </ul>	課題追究能力(観察) 表現力(写真)
STEP 3 【2時間】	自分の好きな塀をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前時に撮った写真を見て、塀には様々な種類、色、形、素材があることに気づく。</li> <li>●塀が連なることで、まちの印象(景観)をつくっていることに気づく。</li> <li>●自由に塀を並べて、自分が一番良いと思った組み合わせをつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちが撮った塀の写真をA3サイズに拡大しておく。</li> <li>●塀の拡大写真を、ランダムに黒板上で並べ、連なっている感じにする。</li> <li>●塀が連なることでまちの印象(景観)をつくっていることに気づかせたいときにはその塀が入っているまちの風景の写真、塀を並べて作品をつくる時には画面いっぱいに塀を撮った写真を使用するとよい。</li> </ul>	表現力(作品)
STEP 4 【1時間】	塀の効果や景観について気づき発表する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分が作った塀の作品について発表する。</li> <li>●みんなでどの作品がよかったか意見を出し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●どうしてその組み合わせにしたのか、理由を発表できるようにする。</li> <li>●塀の連なりがみせる「統一感」や「調和」が景観を良くすることに気づかせたい。</li> </ul>	表現力(発表) 自己評価力(発表・観察)

## 5. 留意点

- 写真を並べて組み合わせることを考えながら写真を撮らないと、連なっている感じが出ないことを事前に児童に説明する。
- まち歩きの際の交通安全を確保する。特に、観察中や写真撮影中の児童は周囲への注意が疎かになりがちになるため、安全には十分配慮する。

## 6. 発展へのヒント

- 「No.07：看板からまちの風景を考える」、あるいは「No.08：わたしたちのまちに言葉の贈りもの」を行う。
- まちのいろいろな場所で、なぜそのような塀(境界の区切り方)が選ばれたのか、その理由を考える。
- 屋根など連なっていることでまちの景観をつくっているものを探し、その印象を考える。
- まちの中で自分の好きな場所を見つけ、自分だけの名前をつける。場所と名前をお互いに発表する。

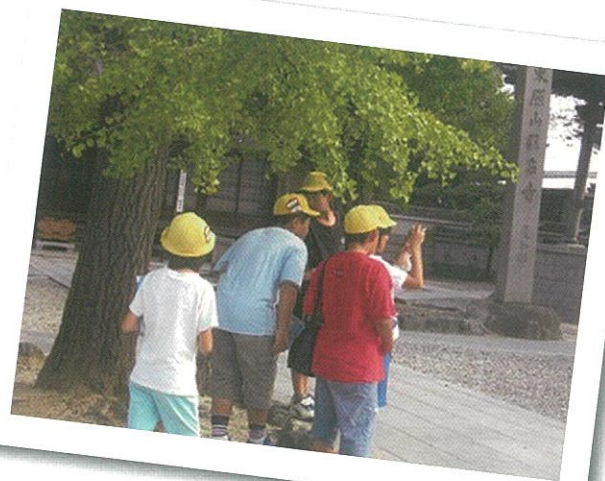




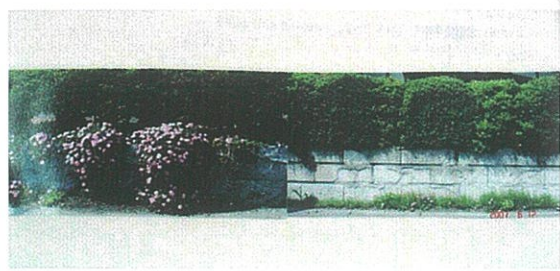
グループごとにまちを探検して、自分の気に入った塀を調べました。



かわらでできた塀、花崗岩でできた塀、生垣など、いろいろな塀を写真に撮りました。



塀の種類や色、素材に注目しながら、気に入った塀の組み合わせを考えました。



撮ってきた写真を組み合わせて、作品を作りました。



自分が見つけた塀の作品の発表会をしました。みんなでの作品がよかったか、意見を出し合いました。

ここでは、モデルプログラムをもとに行った取り組みの様子を掲載しています。実際に取り組んだ学校の授業の様子や先生の声を事例集で紹介しています。併せてご覧ください。

# 塀もまちの 景観の一部

No. 06

まち歩きをして、塀の写真を撮り、その好きな組み合わせを考える(ブロック壁、生け垣、植木鉢など)。



## 対象学年・関連教科

### 【対象学年のめやす】

総合的な学習の時間 ● 小学校3・4年生

### 【関連する教科】

- 図画工作
- 社会